

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・ 事業所 の特徴	平成 24 年 4 月に開設した事業所でありご利用者もスタッフも明るい事業所です。グループとしては 2 番目の小規模多機能事業であり、事業所間の情報交換・連携も行っています。レクレーションや行事に力を入れており皆さん楽しんでくださっています。ご利用者やご家族の意向を大切に、柔軟な対応を心掛け支援させて頂いております。
事業所名	洛和小規模多機能サ ービス山科西野	管理者	大西ひとみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1 人	人	人	1 人	1 人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	新規利用者の詳しい情報収集や本人の思いを担当職員が理解し共有していく。	担当者としての意識をもち、本人の思いをミーティングなどで共有出来、出来る取り組みなども話し合っている。	各項目で職員の皆さんが利用者さんの情報共有から目的に向かってより良いサービスに繋げたい意欲は伝わってきます。	新規利用者の情報収集や利用開始後の新たな気付きを担当職員が中心となり共有していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	行事担当が玄関の飾りつけも行い、外からも事業所の雰囲気がかかる様に取り組んで行く。	利用者さんにも手伝ってもらい、玄関や室内を季節に合わせた飾りつけが出来ている。	玄関ドアが開いているときは、飾りつけや庭の手入れなど見える限りはきれいな環境と捉えています。	行事担当が中心となり、玄関やフロアでも季節感が味わえるように取り組んで行く。
C. 事業所と地域 のかかわり	オレンジトライアングルの取り組みを今後そのように行うのか話し合い、関りを戻していく準備を行う。	コロナ対応などで ZOOM 会議なども時間が取れなかった。	コロナ過で様々な行事や会議が中止になっていますが、近い将来「お茶しませんか」「民生児童委員協議会」など参加していただければと思います。	オレンジトライアングルや地域の行事が再開された時や ZOOM 会議なども他の職員も参加出来るように調整する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	会議や集まりがあった際に、勤務調整を行い職員も参加できるようにする。	コロナ過で会議や集まりがなく、出向くこともできなかった。	利用者の家族や生活環境に合わせて支援されていると思います。情報交換の場のセッティングが必要であれば可能だと思います。	情報交換の場などあれば、他の職員も参加できるようにする。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	管理者だけでなく、他の職員の紹介や挨拶から顔つなぎの関係を始める。	電話でご意見を伺うことはあっても、他の職員との関係性は持つ機会がなかった。	年一回 認知症をテーマにお話の場が持てると「顔つなぎ」にもなって良いかなと考えています。	地域の方と顔つなぎが出来るような取り組みに参加できるようにする。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域の方にも参加してもらえ よう、イーゼルに記載するなどの 情報発信を行う。	必要最低限の人数で行っていた 為、地域の方に参していただくこ とがなかった。	施設内の行事も含め、防災計画の 情報など、許せる範囲で運営推進 委員へ向けての情報発信をお願 いします。	地域の方にもどういった取り組 みをしているかなど情報発信を 行う。
--------------------	--	--	---	---